

2025年度

神戸女学院大学大学院

人間科学研究科博士後期課程

入学試験要項



神戸女学院大学

目 次

ミッションステートメントと3ポリシー	1
2025年度 大学院人間科学研究科博士後期課程入学試験要項	
1. 入学定員	6
2. 出願資格	6
3. 試験日	6
4. 試験科目・試験時間割	6
5. 受験上の注意	6
6. 出願期間・方法	7
7. 出願手続	7
〔I〕出願書類	7
〔II〕入学検定料の納入方法	8
〔III〕出願要領	8
〔IV〕出願上の注意	8
8. 志願票・受験票記入上の注意	8
9. 判定結果通知	11
10. 入学手続	11
11. 納付金	11
神戸女学院大学大学院人間科学研究科概要	
人間科学専攻 博士後期課程	12

ミッションステートメントと3つのポリシー（大学院）

ミッションステートメント

神戸女学院大学大学院は、学ぶ者と働く者が共に学院標語「愛神愛隣」に基づくキリスト教の精神を分かち合い、時代の潮流に流されることなく、置かれた場で、利害を超え、自らの役割を感知し、果たし、人にとって真に大切なものを見分ける、共感性の高い人格への成長を目指します。

ディプロマ・ポリシー

神戸女学院大学大学院は、キリスト教主義の伝統ある女性高等教育機関として、学院標語「愛神愛隣」に基づいて、置かれた場で時代の潮流に流されることなく利害を超えて自らの役割を果たす、他者と深く共感する人格を養成します。

そのような人格に必要な以下の能力を修得し、学位論文・最終試験を含む修了要件を満たした人に対して修士の学位を授与します。

1. 高度な専門的なものの見方や表現力、専門的技術を体系的に備え、専門的技術を活かした教育・研究キャリアに従事する能力
2. 共感性の高い人格的教養を備え、専門領域の知識や技術を有効に社会に還元する能力
3. 主体的に学び続ける姿勢を備え、新たな企画を創造する能力
4. 様々な他者と交流できる優れたコミュニケーション力と社会の一員としての高い倫理的意識を備え、愛と奉仕の精神で人々に尽くす能力

また、上記のような人格に必要な以下の能力を修得し、学位論文・最終試験を含む修了要件を満たした人に対して博士の学位を授与します。

1. 専門領域のより深い知識と思考力を備え、自立した研究者、指導者としての能力
2. 主体的に学び続ける姿勢を備え、新たな企画を創造する能力
3. 様々な他者と交流できる優れたコミュニケーション力と社会の一員としての高い倫理的意識を備え、愛と奉仕の精神で人々に尽くす能力

修士、博士の学位に伴う学位論文の審査あるいは最終試験においては、公開発表会を行います。

カリキュラム・ポリシー

神戸女学院大学大学院は、ディプロマ・ポリシーに定めた人格を養成するために、文学研究科（博士前期・後期課程）、人間科学研究科（博士前期・後期課程）、音楽研究科（修士課程）を置き、次のような方針に基づいて教育科目を設定します。

1. 学生が高度な専門的学術理論・技術を修得し、研究することができるようになるための科目を設定すること（専門科目）
2. 学生が社会に貢献するために必要なキリスト教精神を育むための科目を設定すること（キリスト教教学）

3. 学生が文化・思想・科学の進歩に寄与する独創性、論理的思考力、表現力を獲得するための科目を設定すること（演習科目）

教育課程については、体系性・系統性の理解を促すため、学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す科目番号および、必修科目、選択必修科目、選択科目などについての科目記号を学修便覧等につけ、なおかつ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。

アドミッション・ポリシー

本学大学院のミッションステートメントとディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーをよく理解し、それぞれの研究科・専攻の教育課程を履修するために必要な学力を備えた人を受け入れます。その目的を達成するため、入学試験を下記の通り実施します。

博士前期課程、修士課程

1. 高度な専門的知識を深く修得することを志す人
2. 修得した技能を活かし、より善い社会の実現を志す人
3. 他者への共感性を備え、隣人に仕えることを志す人

全ての研究科において、高度な専門的知識を獲得するのに必要な学力（外国語の能力、思考力・表現力）を備えた人を広く受け入れるために、一般入学試験（秋季(全研究科)と春季(文学研究科、人間科学研究科)）を実施します。また、文学研究科および人間科学研究科では本学の学部教育に引き続き学びたい人を受け入れるために、内部推薦入学試験（夏季）を実施します。

博士後期課程

1. 高度に専門的なものの見方や表現力、専門的技術を体系的に備え、専門的技術を活かした教育・研究キャリアに従事することができる人
2. 共感性の高い人格的教養を備え、専門領域の知識や技術を有効に社会に還元することができる人
3. 主体的に学び続ける姿勢を備え、新たな企画を創造することができる人
4. 様々な他者と交流できる優れたコミュニケーション力と社会の一員としての高い倫理意識を備え、愛と奉仕の精神で人々に尽くすことができる人

文学研究科、人間科学研究科においては、高度な専門的知識、創造性および表現力を備えているとみなすことのできる人を広く受け入れるために、一般入学試験（春季）を実施し、研究立案力、思考力、表現力、外国語の能力について考査します。

神戸女学院大学大学院 人間科学研究科

【ディプロマ・ポリシー】

大学院3ポリシーのもと、人間科学研究科では、人間やそれを取り巻く自然や環境に対する幅広い視野と知識をもとに、社会に還元しうる知見を生み出すことを目指しつつ、深い洞察力と国際的視野をもって、国際社会や地域社会に貢献する人格を養成します。

そのような人格に必要な以下の能力を修得し、博士前期課程の修了要件を満たした人に対して修士（人間科学）の学位を授与します。修了の認定にあたっては、学位論文の公開審査を受け、最終試験に合格することが求められます。

1. 人間の心と身体、社会や人間を取り巻く自然、環境、その成り立ちや働き、その多様性について専門的知識を幅広く備え、研究倫理を遵守しつつ、豊かな感受性で、多面的視点から人間や環境を理解する能力
2. 人間やそれを取り巻く自然や環境を対象に、主体的に課題を見つけて研究計画を立て、データを分析し考察することで培われる科学的、実証的に課題を探究する能力
3. 「愛神愛隣」の精神に基づいて、多様な文化的背景を持つ人々とコミュニケーションができる能力
4. 学位論文研究等で得られた成果を、よりよい社会実現のために、学会、研究会等で発信、討論できる能力

また、上記のような人格に必要な以下の能力を修得し、博士後期課程の修了要件を満たして博士学位論文を提出した人に対して、博士（人間科学）の学位を授与します。博士学位の認定にあたっては、学位論文の公開審査を受け、最終試験に合格することが求められます。

1. 人間や環境を対象とした分野の専門領域における高度で先端的な知識・技能を備え、研究倫理を遵守しつつ独創的な研究を遂行する能力
2. 広い視野と豊かな学識を備え、自立した研究者や指導者として、あるいは専門的職業人として活動できる資質と能力
3. 母語及び外国語の高い運用能力とコミュニケーション能力を備え、研究の成果を国内外に発信して社会に還元する能力

人間科学研究科では修士論文および博士論文は主査および副査が審査し、研究科委員会で合否を判定します。研究科委員会での審議を経たのち、大学院委員会で合否の判定を行います。修士号および博士号を授与された論文は製本されて本学図書館に保管され一般の閲覧に供します。合格した博士論文は3か月以内に論文要旨、審査結果の要旨を学内学術刊行物及びインターネットの利用により公表します。

【カリキュラム・ポリシー】

ディプロマ・ポリシーに定めた人格を養成するため、人間科学研究科（博士前期・後期課程）に人間科学専攻を置き、次のような方針に基づいて教育科目を設定します。

博士前期課程

博士前期課程には臨床心理学分野、人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野の4分野を置きます。臨床心理学分野は公認心理師および臨床心理士養成のための高度職業人育成教育と臨床心理学分野の研究を行います。この分野は、公認心理師養成に必要なカリキュラムを完備し、また(財)日本臨床心理士資格認定協会より臨床心理士養成大学院第1種指定を受け、心の問題とその援助法を探究します。人間行動学分野は人間の認識や行動、社会、文化の諸問題を探究します。環境科学分野は人間が環境に及ぼす影響を理解し、人間と自然の関係を探究します。健康科学分野は環境要因と健康、食と健康との関係、心身の相互作用などを研究します。

博士前期課程では、専攻・分野の特性にあわせて、以下のような基本方針に基づくカリキュラムを編成します。

1. 専攻・分野において、専門分野における高度な専門的知識・技能を身につける科目を設定すること(専門科目)
2. 学生が社会に貢献するために必要なキリスト教精神を育むための科目を設定すること(キリスト教教学)
3. 専門的な知を有機的に結合し、学際的視野に立った総合判断力を養うために「合同演習」という人間科学研究科の学生全員が研究発表する演習科目を設けること(人間科学合同演習)
4. 研究調査能力、実験や検査に関わる技能、知識、現場における実践的能力を養う科目を設定すること(演習、実習科目)
5. 公認心理師および臨床心理士養成のため高度専門的なキャリア育成のための教育課程や科目を設定し、また高度専門職を目指す学生に配慮した履修プログラムを提供すること(資格関連科目)
6. 修士論文・修士課題研究作成において、高度な専門性を追及し、幅広い視野や知識技術を活かした成果を生み出すよう指導すること(特別研究)

博士後期課程

博士後期課程には臨床人間科学分野と人間環境科学分野の2分野を置きます。臨床人間科学分野は心の働きや人間の行動、発達の多様な側面、現代社会における人々の心の健康や適応、さらにさまざまな文化現象などについて、多面的・実践的に研究を行います。人間環境科学分野は動植物の生態に関する研究、人間の諸活動による環境変化が生物個体や生態系に及ぼす影響の研究、また人間の身体健康や病気のメカニズム、栄養に関する研究などを行います。

博士後期課程では博士前期課程で身につけた学識と能力をさらに発展させ、以下のような基本方針に基づくカリキュラムを編成します。

1. 専門的な知を有機的に結合し、学際的視野に立った総合判断力を養うために「合同演習」という人間科学研究科の学生全員が研究発表する演習科目を設けること(人間科学合同演習)
2. 研究者として自立した活動をおこなうのに必要となる高度な研究能力を養い、博士学位の取得を目標とした研究指導を行うこと

教育課程については、体系性・系統性の理解を促すため、学問分野、科目間の連携や科目内容の

難易度を表す科目番号および、必修科目、選択必修科目、選択科目などについての科目記号を学修便覧等につけ、なおかつ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。

【アドミッション・ポリシー】

本学大学院のミッションステートメントと本研究科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーをよく理解し、それぞれの分野の教育課程を履修するために必要な学力、資質を備えた人を受け入れます。

博士前期課程

1. 各分野が求める高度の専門的知識や実践的スキルに関わる基礎をもった人
2. 明確な研究目的をもって課題を積極的に発見し、探究する意欲がある人
3. 国際的視野に立った研究を遂行する基礎となる知識と能力をもった人
4. 本研究科の理念・目的を理解し、自ら学修・研究を進めることができる人

本学の学部教育に引き続き学びたい人を受け入れるために、大学院進学を前提とした早期卒業生の受け入れ（人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野）、内部推薦入学試験（人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野）、一次試験免除入学試験（臨床心理学分野）を実施します。高度な専門的知識を獲得するのに必要な学力（外国語の能力、専門分野を学ぶための基礎知識・技能、思考力・表現力）を備えた人を広く受け入れるために、一般入学試験（秋季、春季）を実施します。また、多様な経験やキャリアをもとに、より高い専門性を目指したい人のために、社会人入学試験（人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野、春季）を実施します。

博士後期課程

1. 各分野が求める高度の専門的知識や実践的スキルに関わる基礎をもった人
2. 明確な研究目的をもって課題を積極的に発見し、探究する意欲がある人
3. 国際的視野に立った研究を遂行する基礎となる知識と能力をもった人
4. 高度な職業人、教育・研究者を目指し、自ら創造的研究を進めることができる人

高度な専門的知識、創造性および表現力を備えているとみなすことのできる人を広く受け入れるために、一般入学試験（春季）を実施し、研究立案力、思考力、表現力、外国語の能力について審査します。

2025年度 大学院人間科学研究科博士後期課程入学試験要項

1. 入学定員

人間科学専攻 2名

2. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する女子。

1. 修士の学位を有する者又は2025年3月末までに修士課程を修了見込みの者。
2. 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者。
3. 文部科学大臣の指定した者。
4. 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、23歳に達した者。
5. 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者。

3. 試験日

2025年2月12日（水）

4. 試験科目・試験時間割

専攻	科目	時間
人間科学専攻	英語	9:20~10:40 (80分)
	口述(専門・修論等)	10:50~(1名40分程度) ※面接終了後随時解散

◎英語の試験は大学側で用意した辞書（紙媒体の英和辞典）のみ使用可。

◎本大学院博士前期課程（修士課程）修了者は口述のみとする。

5. 受験上の注意

- ・試験開始10分前までに試験場に入場し、各自指定された席に着席してください。
- ・試験開始後20分以上遅刻した場合は、**受験できません**。それぞれの試験の退出可能時間は、試験開始後20分以後です。
- ・受験票は必ず携行してください。万一紛失したり、忘れた場合は、人間科学部事務室に申し出てください。
- ・答案は必ずHBの黒鉛筆（シャープペンシルは0.5mm以上の芯）で記入してください。
- ・不正行為者には直ちに退場を命じ、全科目を無効とします。
試験場においては、すべて監督者の指示に従ってください。
- ・その他
 - (1) 自動車の学内乗り入れは禁止しています。
 - (2) 携帯電話等は鳴らないようにしてその他の荷物に入れてください。
 - (3) 試験場から離れるときは、貴重品を必ず携行してください(紛失の責任は一切負えません)。
 - (4) 地震および気象警報発令時・交通機関ストライキ時は研究科HPをご覧ください。

6. 出願期間・方法

- | | |
|----------|---|
| 1. 期 間 | 2025年1月6日(月)～1月10日(金) |
| 2. 提 出 先 | 〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4番1号
神戸女学院大学 人間科学部事務室 |
| 3. 方 法 | 郵送による出願(書留速達)に限ります(締切日消印有効)。 |

7. 出 願 手 続

〔I〕出願書類

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1. 志願票・受験票 | 本学所定の用紙 |
| 2. 成績証明書 | 出身大学院の成績証明書 |
| 3. 今までの主な研究内容 | 本学所定の用紙 |
| 4. 志望理由および
研究計画書(表)
研究業績一覧(裏) | 本学所定の用紙
(研究業績の別刷又はコピーを添付してください。) |
| 5. 修士論文および
その概要各1部 | (1) 修士課程修了者
(a) 修士論文(写)
(b) 修士論文の概要(A4判の用紙を使用、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,000語程度)
(2) 修士課程修了見込の者
(a) 修士論文としての予定の論文(写)
(b) 上記(a)の概要(A4判の用紙を使用、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,000語程度)
(3) 上記以外の者
(a) (1)に準拠した「修士の学位相当の論文」(写)
(b) 「修士の学位相当の論文」の概要(A4判の用紙を使用、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,000語程度)
※修士論文などは所定の封筒には入らないと思われるので、市販の大きいサイズの封筒に入れて書留で郵送してください。
なお、志願票その他の出願書類は、所定の封筒で提出してください。 |
| 6. その他の論文
およびその
概要 各1部 | 前記5.の論文以外にも審査対象として希望する論文がある場合にのみ提出してください。
(a) 論文(写)
(b) 論文の概要(A4判の用紙を使用、和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,000語程度) |
| 7. 英検・TOEFLおよび
TOEICアンケート | 本学所定の用紙 |

注) 受験票は出願締切後に郵送します。

〔Ⅱ〕入学検定料の納入方法

入学検定料 35,000円

- (1) 入学検定料は銀行等の金融機関の窓口からの振り込みに限ります。郵便局からの振り込みはできません。また、現金自動支払機（ATM）による振り込みは、受け付けません。
- (2) 払込用紙〈(A)・(B)票〉は、志願票〈(C)票〉および「受験票」と一連つづりとなっていますので、必要事項をすべて記入の上、そのまま切り離さずに、入学検定料と振込手数料を添えて金融機関の窓口へ提出してください。
- (3) 振り込んだ後、(B)・(C)票および「受験票」を受け取り、(B)・(C)票に金融機関の収納印があることを確認してください。
※収納印がない場合は、振り込んだ金融機関で押印してもらってください。
- (4) (C)票および「受験票」を出願書類に同封してください。
- (5) (B)票は領収書です。本人が大切に保管してください。

〔Ⅲ〕出願要領

1. 出願書類は本学所定の封筒を使用し、必ず書留速達で郵送してください。
2. 内容に不備がないか、郵送前によく確認してください。

〔Ⅳ〕出願上の注意

1. 志願者は、指導を希望する教員と事前にコンタクトを取ること。
2. 出願後は志望分野の変更を一切認めません。
3. いったん納入された入学検定料および提出書類は返還しません。
4. 障害等があり、受験に際して特別の配慮を必要とする志願者は、受験方法等の準備のため、出願に先立ち、人間科学部事務室に申し出て相談してください。なお、必要に応じて健康診断書等の提出を求める場合があります。

8. 志願票・受験票記入上の注意

志願票は(A)～(C)の各票からなっており、記入に際しては黒のボールペンを使用し、文字は楷書、数字は算用数字で正確明瞭に記入し、該当事項は○で囲んでください。なお、※印の欄は記入しないでください。

誤って記入した場合は、訂正箇所には二重線を引き押印の上、正しく記入してください。また、必ず自筆で記入してください。記入にあたっては、10ページ「志願票・受験票記入例」を参照してください。

先方銀行欄〈(A)票〉

三井住友銀行の番号を○で囲んでください。

志願者氏名〈(A)～(C)票・受験票〉

志願者の本名を楷書で丁寧に記入してください。外国籍の者が通称名を用いる場合は、住民票に記載されている通称名に限ります。(A)・(C)票にはフリガナをカタカナで、受験票にはフリガナをローマ字で明記してください。

志願者への連絡先住所欄<(A)・(C)票>

本人への連絡先(郵便番号・住所・電話番号)を記入してください。

「市」の場合、都道府県は省略してください。

番地は算用数字で記入してください。丁目・番地などはハイフン「-」を使用してください。

なお、この住所宛に受験票および判定結果通知書を送付します。

希望する専門分野・指導教員<(C)票>

希望する専門分野および指導教員を記入してください。

生年月日<(C)票>

西暦および元号で記入してください。

学歴・職歴欄<(C)票>

志願者本人の最終学歴まで記入してください。

職歴もあれば(現職がある場合は特に詳しく)併せて記入してください。

写真<(C)票・受験票>

写真は次のものを用い、裏面に氏名を明記し、貼付してください。

- (1) 最近3か月以内に撮影した写真(カラーも可)
- (2) 大きさは縦4 cm・横3 cm
- (3) 正面・上半身・無帽で背景は無地のもの

出身校<受験票>

志願者の出身校を記入してください。

注) 志願票提出後の変更は一切認めません。

志願票・受験票記入例

(A)

受付銀行への依頼し

1. 本券を打直ししてください。整理番号を氏名欄頭に必ず打直してください。
2. 受付銀行の規則が所収ありますので、必ず印刷のうえ、B、C票および受験票を依頼人へ返戻してください。
3. 下記以外の本・支店では手数料は無料です。

志願者の皆さまへ

1. 希望する銀行の番号を○印で明んでください。
2. ATMによる振込はできません。

神戸女学院大学大学院 院振込依頼書 **電信送** 科目

依頼日	年月日	振込指定	電信送	手数料	科目
1	三井住友銀行 西宮支店	普通	1113820	金額 ¥35000	
2	三井住友銀行 甲斐支店	普通	3940512	現金	
		ガク	コウベジョギタイン	当手枚	
受取人	学校法人 神戸女学院				
口座名	903001				
整理番号	903001				
銀行取扱期間(期間外取扱不可)	2025年 1月 6日から 2025年 1月 10日まで				
志願者	姓	名	科	目	
	コウベ	ハナコ	花	子	
住所	〒(662-8505) 西宮市岡田山4-1 岡田山マンション201 ☎(0798) 52-0955				

(B)

神戸女学院大学大学院 院振込依頼書 **領収書**

金額 ¥35,000

受取人 学校法人 神戸女学院

振込先 神戸花子殿

上記のとおり振込しました。

学校法人 神戸女学院

本人保管

整理番号 903001

〒35,000

903001

(受付銀行一本人)

(C)

2025年度 神戸女学院大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻(博士後期課程) 志願票

志願者 氏名 漢字 苗字 神戸 花子

志願者への連絡先 郵便番号 662-8505

電話番号 0798-52-0955

市区郡 西宮市

町村番地 岡田山4-1

〒(〒) 903001

住所 岡田山マンション201

志願者印 神戸女学院大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻(博士後期課程) 志願者 神戸花子

〒35,000

903001

(受付銀行一本人)

2025年度 神戸女学院大学大学院 博士後期課程 受験票

※ 所属の住所番号をよく読むこと。※は記入不要

第 番	人間科学研究科
氏名	神戸花子
出身	Kobe Hamako
校名	神戸女学院大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻(博士後期課程)

○ローマ字は、へボン式で姓・名の順に書く。
○試験当日は、本票を必ず持参すること。

写真 縦4cm×横3cm 裏面に氏名を明記し貼付すること。

9. 判定結果通知

2025年2月15日（土）付で志願者全員に郵送で判定結果を発送します。

また、合格者には入学手続案内を同封します。

10. 入学手続

入学を許可された者は、2025年3月24日（月）までに所定の納付金を納入し、Web入学手続を完了の上、必要書類を提出してください。この手続を行わない場合は入学許可を取り消します。

なお、入学手続完了後、2025年3月31日（月）（必着）までに簡易書留にて入学辞退届を提出した場合に限り、授業料・教育充実費の前期分相当額のみ返還します。

※詳細は判定結果通知時に交付する入学手続案内に記載します。

11. 納付金

2025年度は未定です。以下に2024年度の納付金および諸会費に関する事項を示します。

	初年度 納付金（年額）	入学手続時 納付金
入学金	200,000円	200,000円
授業料	403,000円	201,500円
教育充実費	193,000円	96,500円
合計	796,000円	498,000円

- 注意事項
- (1) 入学金は初年度のみ徴収します。
 - (2) 神戸女学院大学卒業後、本大学院に入学する者は、入学金を半額（100,000円）とします。
 - (3) 本大学院博士前期課程（修士課程）修了後、博士後期課程に入学する者は、入学金を全額免除します。
 - (4) 履修する科目によっては実験実習料を入学後に徴収します。
 - (5) 他にめぐみ会〔同窓会〕入会金10,000円（本学院出身者は不要）を後期に徴収します。
 - (6) いったん納入された入学金は、返還しません。
- ※ 上記納付金および入学検定料には、消費税は課されません。

神戸女学院大学大学院

人間科学研究科概要

■ 人間科学専攻 博士後期課程

人間科学研究科博士後期課程は博士前期課程（修士課程）と同様1専攻とし、臨床人間科学と人間環境科学の2つの専門分野を置く。本研究科ではそれぞれの専門分野での高度な専門知識と研究方法を身につけるとともに、総合的な学問的視点をも追求することを目的に1専攻として、教育・研究を行い、下記の各分野での研究者及び指導者を育成する。

【専門分野】

臨床人間科学

現代では、子育て、自立、アイデンティティ形成や親密性等の人生の節目において、あるいはまた学校や職場等の社会場面での適応において、様々な心理的問題が生じうる。本研究分野では、臨床心理学、社会心理学、認知心理学、発達心理学、精神医学、情報科学等の臨床人間科学の基礎知識を踏まえた上で、現代社会の心理学的課題と心理的援助の在り方を専門的・実践的に研究する。

人間環境科学

人間は、自己を取り巻く自然的環境及び社会的環境の中で生活する存在である。今日では、我々人類のみならず地球上のあらゆる生物種の存在自体が脅かされる環境問題が世界各地で生じている。また、日常生活においても、音、熱、ストレスなど種々の環境要因による健康障害が大きな社会問題になっている。これらはいずれも現代社会において取り組むべき重要課題である。そこで、人間の諸活動による環境変化が生物個体や生態系に及ぼす影響や、さまざまな環境要因の相互作用が人間の社会と身体に及ぼす影響を、環境科学、生態学、環境社会学、生命科学、栄養科学などの視点から捉えた研究を行う。

教育課程

人間科学研究科博士後期課程においても学際的・総合的な研究方法についての視野を深めるために、その教育課程に合同演習2単位（必修）と特別講義8単位（2単位選択必修）を設け、合計4単位以上を履修する。

人間科学合同演習（2単位）

この科目は博士前期課程（修士課程）の同科目と合同で行われるものであり、隣接あるいは専門分野がやや異なった領域の学生・教員が協力して、分野間の有機的結合と幅広い視野の養成を目指すものである。

人間科学特別講義（3科目、各2単位）

人間科学に関連する研究領域において学識豊富あるいは最先端の研究者に兼任講師として講義（集中講義を含む）を依頼し、絶えず新鮮な学問的刺激が得られるようにする。

研究指導

博士後期課程での学生の研究指導は段階を経て行われる。博士後期課程へ進学時に、学生は研究指導を希望する教員と研究テーマ、研究計画、研究方法、その研究の意義や将来展望について十分に相談する。文献調査による先行研究の検討を徹底し、研究過程に於いては、実習、

実験、フィールドワークによるデータ分析の結果・考察等について各学年度末に学内での発表の機会を与え、指導教員だけでなく関連分野の教員からも指導を受けることとする。さらに、学会等学外での研究発表をすることとし、学外の研究者からも批評を受けることを義務づける。

かなりの研究成果が得られた後の博士論文作成の過程でも、適時口頭発表の機会を設け、できる限り多くの教員が論評を加えることができるように考慮する。

専 門 分 野	研 究 指 導 担 当 者	合 同 演 習	講 義
		通 年 2 単 位	半 期 2 単 位 (いずれも隔年開講)
臨 床 人 間 科 学	石 谷 真 一 教 授 上 泰 教 授 木 村 昌 紀 教 授 小 林 知 博 教 授 三 浦 欽 也 教 授 須 藤 春 佳 教 授 鶴 田 英 也 教 授 矢 野 円 郁 教 授 吉 益 光 一 教 授	人 間 科 学 合 同 演 習 人 間 科 学 研 究 科 長 他 各 分 野 从 数 名	人 間 科 学 特 別 講 義 A
人 間 環 境 科 学	張 野 宏 也 教 授 三 宅 志 穂 教 授 中 川 徹 夫 教 授 佐 藤 友 亮 教 授 高 橋 大 輔 教 授 高 岡 素 子 教 授 横 田 弘 文 教 授		人 間 科 学 特 別 講 義 B
			人 間 科 学 特 別 講 義 C

人間科学合同演習 2 単位、特別講義 2 単位を含む合計 4 単位以上を修得すること。

■ 研究指導の内容

◎臨床人間科学

石谷真一教授 臨床心理学、中でも関係性を通しての心の情意面の形成という視点を軸に、臨床問題を把握しメンタライジングを核とする援助のアプローチを指導する。そうした実践と結びついたところで、院生各自が問題意識とテーマを見出し、博士前期課程の研究成果をさらに発展・深化させ、博士論文を作成することを支援する。こうしたプロセスを通し、高い水準の臨床実践家かつ臨床心理学分野の研究者の養成を目指す。

上泰教授 身の周りの課題は、情報通信技術に他分野の知見を融合させることで解決できる場合が多い。そこで、関連他分野の知見取得について助言を行い、先行研究との比較を行いながら、得られた成果を博士論文としてまとめていく指導を行う。

木村昌紀教授 社会心理学、特に対人コミュニケーションと対人関係の領域で、各自の研究テーマに沿った博士論文の作成を指導する。研究計画の立案・遂行を重ねて、博士論文を執筆する以外に、口頭・ポスターでの学会発表、学術雑誌への投稿、研究予算申請など、研究者育成のための指導を行う。

小林知博教授 自己認知、他者認知、自己・他者・健康行動・ステレオタイプについての潜在的・顕在的評価研究、自己呈示、所属欲求などのテーマで実証的研究を行う学生を指導する。学術雑誌への投稿をはじめ博士論文の作成など、研究者育成のための指導を行う。

三浦欽也教授 知能・情動等の心の働きのモデル化とその応用に関連する領域において、理論的、工学的、あるいは探索的手法による研究を行う学生を研究指導する。学生各自が設定したテーマに沿って研究を遂行するにあたり、問題点の分析・研究手法等について助言・指導し、学術論文・博士論文の作成を指導する。

須藤春佳教授 博士後期課程では、前期課程に続き、院生が臨床実践の研鑽を積むと同時に、実践につながる研究を行うことのできる研究者の養成を目指す。臨床心理学分野の博士論文の作成に向け、調査研究、文献研究、事例研究などを通して、一連のテーマに沿った研究として収斂させることを目指して指導を行う。専門領域は、子ども・思春期の心理臨床を中心としている。

鶴田英也教授 修士論文で追求したテーマをさらに深化、収斂させ、博士論文へまとめ上げる作業を指導する。自身の実践と研究とが相互に根ざして一体化しているような臨床実践研究者の養成を目指す。専門領域は描画や箱庭などのイメージにかかわる心理臨床学である。

矢野円郁教授 認知心理学、ジェンダー、教育などの領域において、自主的に設定したテーマについて、実証的研究を行う院生を研究指導する。学会での発表や学術雑誌への投稿、博士論文の作成を指導する。

吉益光一教授 ADHD や自閉症などの発達障害を中心に、精神疾患全般の疫学研究の方法論と実践、メタ分析や心理統計の手法について指導し、独立した研究者としての能力の涵養を目指す。英語論文の専門誌への投稿や競争的研究資金の獲得についても指導する。

◎人間環境科学

張野宏也教授 人間は利便性を追求しさまざまな化学物質を合成したが、その反面、至る所で環境汚染を引き起こした。これら環境問題を解明するために、フィールド調査や室内実験を行い、環境汚染物質の環境中での動態および処理技術を研究する。さらに、その成果を学会や論文を通じて公表し、社会に還元することを最終目標とする。大学院生が、自らの力で研究計画の立案から発表まで行うことを基本とし、それに対し指導およびサポートする。

三宅志穂教授 「自然環境と人」の関係性についての研究テーマに取り組む博士論文の指導を行う。研究対象とする事例は国内外に広く求め、研究は文献収集、実地調査を通じた実証的アプローチにより進める。学会発表や学術雑誌への投稿を通して、自立して研究を進める素養の習得が求められる。

中川徹夫教授 理科教育（化学教育）に関連する研究テーマを設定する。学会発表、学術論文の投稿、博士論文の作成に関する指導・助言を行い、高度な専門性を備えた理科教員や自立した研究者の育成をめざす。

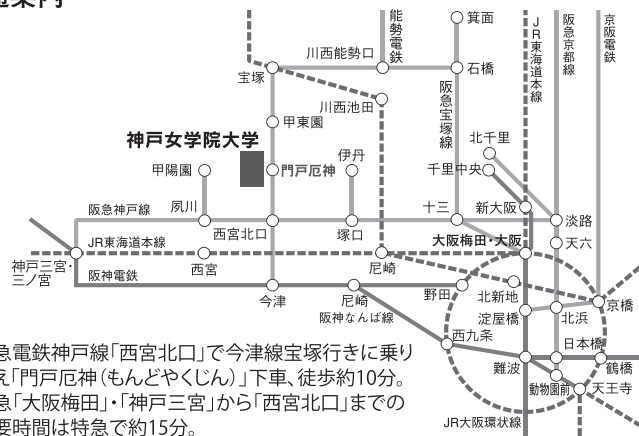
佐藤友亮教授 血液学、血液腫瘍学を中心とした、がんの細胞生物学を分子レベルで解析する。また、ジェンダーに着目した生命科学、医科学研究もテーマとする。研究計画の立案、遂行について指導、助言を行い、自立した研究者を育成する。

高橋大輔教授 動物生態学、行動生態学、保全生態学の領域において、前期課程の研究をさらに発展させる研究テーマを設定し、博士論文や学術雑誌への投稿論文の作成の指導を行いながら、自立した研究者を育成する。

高岡素子教授 「食」の多面性、多義性を正確に理解し、食物が人間に対してどのように機能するかという人間栄養学的なテーマについて研究を行う。専門知識を理解するだけでなく、科学的な実験や調査を通して、自ら考えて計画し、結果を分析・考察し、実験で得られた成果を学会発表や学術論文を通して表現する手法を選ぶ。実践力を身につけた研究者を育成することを目指して指導する。

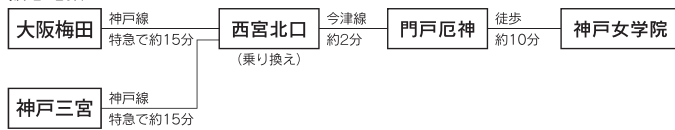
横田弘文教授 化学物質の環境影響問題を室内での曝露実験及び野外でのモニタリングの両面から明らかにし、安全・安心な社会の構築に向けた研究を展開していく。また、化学物質の利便性と有害性を踏まえた社会的な管理のあり方や保全すべき環境のあり様についても探求していく。自ら関連分野における課題を発見し、その解決方法をも提案できる自立した研究者の育成を目的に助言、指導する。

交通案内

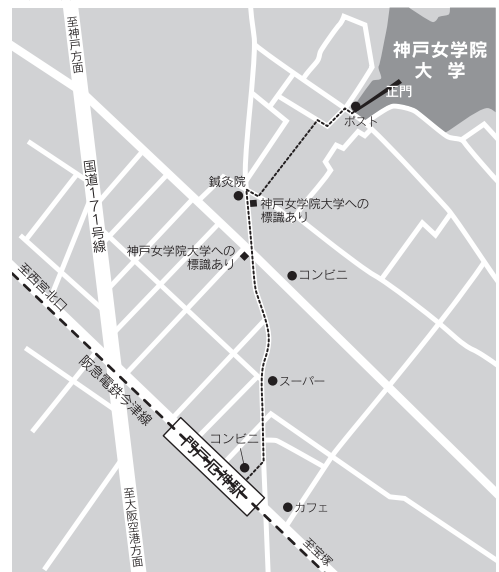


阪急電鉄神戸線「西宮北口」で今津線宝塚行きに乗り換え「門戸厄神(もんどやくじん)」下車、徒歩約10分。
 阪急「大阪梅田」・「神戸三宮」から「西宮北口」までの所要時間は特急で約15分。

阪急電鉄



道順



神戸女学院大学 人間科学部事務室

〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4番1号 ☎(0798)51-8553